

毎週日曜発行 2017 11/19

こども新聞 週刊かほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



続 **お仕事**
の現場

7完

カフェ経営

三塚 大地さん (37)

＝仙台市宮城野区＝

みんなはカフェに行ったことある？ かほピョンは、リラックスしたいとき、おいしいコーヒーを飲みたかふエに行くんだよ。今回は、かほピョンのお気に入り「カフェパティナー」のオーナー、三塚大地さん(37)に話を聞いたよ。

カフェパティナーは、仙台市青葉区の晩翠通沿いにあります。サイホンを使い、おいしいコーヒーを入れてくれるお店として、コーヒー好きの人たちがたくさん集まっています。

サイホンというのは、理科の実験で使うようなガラスの器具のことです。サイホンを使うと、



「カフェパティナー」のオーナー、三塚大地さん。お客さんの笑顔を見るのが、何よりの楽しみなのだといいます。

コーヒーも歌も楽しんで

大崎市出身の大地さんがカフェパティナーをオープンしたのは、昨年のこと。「仙台で過ごした学生時代、学園祭でやった屋台がすごく楽しく



て。来てくれた人に『おいしい』と言われる仕事をしたくて」。カフェを開くために家電量販店で接客を勉強したり、実際にカフェで働いたりして準備しました。

東京のカフェで修業しているときに、奥さんの真弥さん(33)と出会いました。真弥さんは、劇団四季というとても有名な

と大地さんは言います。「僕は、この仕事が好きなんです。僕が大好きなコーヒーや食事でだれかを幸せな気持ちにできるのって、すごいことだと思います」

2人の今の願いは「お客さまがいらっしゃる限り、ずっとこの仕事を続けること」だそうです。

◇ カフェという場所は、お客さんが楽しむだけの場所ではないんだね。今度かほピョンもお店の人にメッセージを書いてみようって。



願いがかなって大地さんの古里宮城県に戻り、カフェをオープン。週末にはピアノソートの演奏と、真弥さんの歌声も楽しめます。

「おいしかったです。また来ます」。以前、お客さんが紙ナフキンに書



な劇団で女優をしていた人で、歌が上手。結婚した2人は「歌とおいしいコーヒーを楽しめるカフェをつくろう」と決めました。

大崎市出身の大地さんがカフェパティナーをオープンしたのは、昨年のこと。「仙台で過ごした学生時代、学園祭でやった屋台がすごく楽しく

て。来てくれた人に『おいしい』と言われる仕事をしたくて」。カフェを開くために家電量販店で接客を勉強したり、実際にカフェで働いたりして準備しました。

今週の注目ニュース

◇22日(水) 第8回全国工場夜景サミット(三重県四日市市・四日市都ホテル)

光にいろどられた夜の工場はとてもきれいだね。そんな夜景を観光に生かしている全国10の都市の集まりだよ。

◇24日(金) 鳥取砂丘でスマートフォン向けゲーム「ポケモンGO」のイベント(～26日、鳥取市)

日本最大級の砂丘の自然を体感してもらおうと鳥取県が開くんだ。めずらしいポケモンもあらわれるそうだよ。

きょうの紙面

- 2 ニュースゴング
- 3 3分チャレンジ
- 4・5 いいね 小学校
- 6 英語
- 7 かほくワークシート
- 8 投稿特集